

令和7年度

事業報告書



社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

令和7年度網走市社会福祉協議会事業報告書

はじめに

当年度は5年間の計画期間であります「第7期地域福祉実践計画」の最終年として、地域福祉事業を中心とする社協事業に取り組んでまいりました。

生活支援体制整備事業につきましては、生活支援コーディネーターを中心として、各地域に地域福祉事業を担う職員を配置し、第2層協議体の運営支援及び設立支援を進めました。

相談支援事業につきましては、生活に支障を来す方の相談業務、家計改善支援業務、就労準備支援業務を進めてまいりました。権利擁護事業につきましては、成年後見についての市民の関心度の上昇が感じられ、今後に向けて一層強化が必要な事業であることを実感しました。

訪問介護事業につきましては、現場で働く介護職員の不足により、昨年に引き続き収益において大変厳しい1年となりました。

I. 地域福祉事業の推進

1. 第7期地域福祉実践計画の推進

「絆と助け合いでつくるわたしたちのまち網走」を理念として、基本目標に掲げる福祉のまちづくりのために、それぞれ実施項目について計画立案して取り組みました。計画の最終年度から総合評価を実施しました。

総合評価

●実施状況（評価数 66 項目）

項 目	評価数	割合
A	40（総務課 11、地域福祉課 25、生活サポートセンター5）	62.12%
B	13（総務課 6、地域福祉課 7、生活サポートセンター0）	19.70%
C	6（総務課 2、地域福祉課 3、生活サポートセンター0）	7.58%
D	7（総務課 5、地域福祉課 2、生活サポートセンター0）	10.60%

※ A：計画通り実施 / B：計画の50%～100%未満の実施 / C：計画の1%～50%未満の実施 / D：計画未実施

●実施効果（評価数 66 項目）

項 目	評価数	割合
効果大	30（総務課 7、地域福祉課 19、生活サポートセンター5）	46.97%
効果中	20（総務課 9、地域福祉課 11、生活サポートセンター0）	30.30%
効果小	8（総務課 2、地域福祉課 5、生活サポートセンター0）	10.61%
効果なし	8（総務課 6、地域福祉課 2、生活サポートセンター0）	12.12%

2. 第8期地域福祉実践計画の策定

第7期地域福祉実践計画の計画満了（令和8年3月）に伴い、令和8年度からを計画期間とする第8期地域福祉実践計画を策定します。策定にあたり、各関係機関から構成する策定委員会を設置し協議を進めました。

詳 細	・ 計画策定委員 10名 ・ 計画策定委員会 4回開催 ・ 計画冊子印刷 250部作成
-----	---

2. 網走市地域福祉会議の開催

網走市における地域福祉推進を図るために、多様な関係機関の情報共有の場として、網走市地域福祉会議を開催しました。事務担当者会議は必要に応じて開催することとしています。

■代表者会議

開催日時	◆第1回：令和7年5月21日 出席者：網走市4名、包括2名、民連1名、町連1名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協4名（町連・老連重複）
	◆第2回：令和8年2月18日 出席者：網走市4名、包括2名、民連1名、町連1名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協5名（町連・老連重複）

3. 出前講座事業の実施

地域住民の福祉への理解を推進していくため、社協職員等が地域へ出向き講話や体験学習に取り組みました。ボランティアや関係機関と連携しながら実施をしています。また、講座メニューをリニューアルし、新規チラシの作成及び配布を行い、利用促進を図っています。

事業実績	実施回数（依頼実績）31回（前年度43回） 受講人数978名（前年度1,272名） 延べ派遣職員数74名（前年度65名）／延べ協力者38名（前年度52名）
------	---

また、出前講座を利用した小学校から地域の高齢者との交流の希望があり、地域の老人クラブ会員との交流を本会が仲介となり実施しました。

内 容	日 時	場 所	参加者
第五中学校・卯原内長寿老人クラブ	5月21日（水）	第五中学校	生徒14名 老人クラブ 11名

4. 福祉教育事業「みんなでHappy 福祉を学んで地域を支えよう！」

子どもへの福祉教育のきっかけ作りと子どもを通して親世代の福祉への理解を図りました。

詳 細	内容：高齢者からのお話、白内障体験、昔遊びづくり 協力：社協役員及び評議員 （黒田会長、中安理事、池田評議員、岡山評議員、菅原評議員）
	1回目 日 時：令和7年7月29日（火）9：30～12：20 場 所：潮見コミュニティセンター 参加者：9名 2回目 日 時：令和7年7月31日（木）9：30～12：20 場 所：網走市総合福祉センター 参加者：4名

福祉教育事業に参加した児童がFMあばしり「社協のほっと便」に出演し、事業に参加した感想を発表してくれました。

詳 細	放送日：令和7年8月5日（木）9：30から（収録放送） 出演者：児童3名
-----	---

5. 日常生活のちょこっとお手伝い事業の実施

日常生活を営むのに支障があり支援が必要な高齢者や障がいのある方等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、日常生活の中で起こる軽微な困りごとの解消を、住民参加型による有償の相互支援活動で行う事業です。地域や介護等、生活支援の担い手不足（ホームヘルパー）の深刻化に伴い、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所からの相談が増えている状況。

■登録会員数

会員区分	利用会員	サポーター会員	合 計
会員数	74名（13名増）	117名（3名増）	191名（16名増）

■相談件数

年 度	相談件数
令和7年度	81件（前年度186件）

■活動内容集計

活動内容	回数	前年度
ゴミの分別	2	0
電球交換	3	0
部屋の模様替え（軽い家具の移動等）	7	4
衣類の整理	5	0
簡単な掃除（生活空間以外の掃除：掃除機がけ、仏壇、窓ふき、換気扇等）	339	460
安否確認	0	1
洗濯作業（洗濯・洗濯物干し・洗濯物取り込み等）	4	0
買い物代行	41	13
ペットの世話や環境整備	0	0
書類の代読	43	0
代読・代筆（自筆が必要なものは除く）	0	0
書類の確認・作成	2	0
お話相手	69	84
病院への薬取り	0	0
市役所等への書類提出の代行	0	0
その他（要相談：対応可能なものに限る）	60	59
合 計	575	621

■支え合いサポーター養成研修

開催日時	第1回：令和7年 5月21日 参加者：4名 サポーター登録：4名 第2回：令和7年 9月19日 参加者：3名 サポーター登録：3名 第3回：令和8年 1月29日 参加者：2名 サポーター登録：2名
------	--

■支え合いサポータースキルアップ研修

詳細	令和7年11月15日（土）10：00～12：00 参加者：13名 ①演題：セルフケアで支援力向上！～ちょこっとヨガで整える心と身体～ 講師：ヨガインストラクター広岡 綾 氏 ②支え合いサポーター交流会
----	---

■支え合いサポーター通信「chocottoletter」の発行

詳細	令和7年5月1日（木）VOL. 1 発行 支え合いサポーターへ郵送
----	--------------------------------------

6. こころのバリアフリーガイドブックの作成・配布

関係機関と連携して、バリアフリーやユニバーサルデザイン、障がいの基礎知識や障がいがある方への合理的配慮の方法などを掲載した「こころのバリアフリーガイドブック」を作成・配布をします。

詳細	1, 000部発行 網走市内公共施設などに配布、その他希望者へ配布
----	--------------------------------------

7. ふれ愛ひろば網走2025の開催（実行委員会形式）

網走市内の福祉団体が実行委員となり、福祉の理解を深めることを目的に開催しました。

開催日時	令和7年8月31日（日）10時開会～14時閉会
開催場所	エコーセンター2000 中庭・エコーホール・アトリウムロビー 他
来場者数	約500名（参加スタッフ含む）

8. ボランティアセンター事業

■ボランティア講座「つながろう講座」

ボランティア・市民活動への理解と担い手育成を目的としたボランティア講座を開催しました。

詳細	日 時：令和8年3月7日（土）10：00～12：05 場 所：潮見コミュニティセンター 大集会室 内 容：笑顔でつながる地域活動交流会 参加者：27名
----	--

■ヤングボランティア育成事業の開催

若い世代のボランティア活動者の育成及び確保を目的とした研修会等を開催しました。

詳細	①ヤングボランティア育成事業 担当教諭会議 日 時：令和7年6月4日（水）16：00～17：30 参加者：桂陽高校 奥原教諭、南高全日 小野塚教諭、南高定時 堀籠教諭 ミライエ 遠藤、事務局 3名
	②高校生が考える！作る！披露する！クリスマス交流会 企画会議 日 時：令和7年10月11日（土）10：00～11：45 参 加 者：高校生26名、学校教諭2名、ミライエ4名、事務局4名
	③高校生が考える！作る！披露する！クリスマス交流会 本番 開 催：令和7年12月13日（土）10：00～12：30 参 加 者：子ども47名、小学生以上3名、保護者47名、高校生35名 学校教諭3名、ミライエ7名、市民活動サポーター5名 外部協力者3名、事務局3名

■市民参加促進事業「つながろう！市民誰でも清掃活動」

地域住民が参加しやすい清掃活動を通じて、ボランティア育成を図ることを目的としています。

開催日時	第1回：令和7年5月17日（土）8：30～9：40 参加者68名 第2回：令和7年9月20日（土）8：30～9：30 参加者45名
------	--

■災害ボランティアセンターの運営

災害時における災害ボランティアセンターが効率的かつ効果的に支援を行うとともに、平常時から連携を取り合い、防災力の向上を図ることを目的に、協定団体による連絡会議を開催しました。

【連絡会議】

開催日時	第1回：令和8年2月24日（火）10：30～11：00 内 容：情報交換 参加者：網走市総務防災課2名、網走青年会議所1名 網走ライオンズクラブ2名、網走市社会福祉協議会2名
------	--

【東日本大震災復興の狼煙パネル展示】

○1日防災学校の実施に併せて、「復興の狼煙」等のパネルを1週間展示しました。

展示場所：網走小学校

展示期間：令和7年8月26日（火）～令和7年9月2日（火）まで

【防災学校への協力】

○1日防災学校において、災害時における障がい者の避難介助を実施しました。

実施場所：網走小学校

日 時：令和7年9月2日（火）10：25～11：25

対 象：5年生（29名）

■お話広場えがおの開催

幅広い世代間の交流、障がいの有無を問わない誰もが気軽に集える場を提供することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的としています。来場者は増加しており、近隣地域以外から足を運ぶ方も増えています。

詳 細	◆毎月第2・第4火曜日11：00～15：00 会場：網走市総合福祉センター 【令和7年度実績】 開催回数：22回 来 場 者：657名（延べ810名） 1日平均36名 運営協力：市民活動サポーター、登録ボランティア（保健師、看護師） 【内 容】 ・市内農家（安藤ファーム・堀内農園・COCO農園）による野菜販売。 ・就労継続支援B型事業所鯛焼きカフェあずきによる鯛焼き販売。 ・健康維持を目的とした健康体操やポッチャ・モルックや、その他レクの実施。 ・保健師、看護師による血圧測定と健康相談（常時）。 ・社協個人登録ボランティア、団体登録ボランティアの参加協力（物づくりや大正琴演奏、ハンドマッサージなど） ・明治安田生命網走主張所、網走市交通安全協会の協力による健康測定の実施。 ・食事の提供（2回）。
-----	---

■ボランティア情報誌「夢ポケット」の発刊（偶数月15日発刊）

定期的にボランティアの情報を発信するためにボランティア情報誌を発刊し、登録ボランティア及び市内公共施設へ郵送や社協ホームページに掲載し、ボランティアの推進を図りました。

実 績	138号：令和7年 4月15日（火）発刊 / 700部発刊 139号：令和7年 6月13日（金）発刊 / 700部発刊 140号：令和7年 8月18日（月）発刊 / 700部発刊 141号：令和7年10月15日（水）発刊 / 700部発刊 142号：令和7年12月17日（水）発刊 / 700部発刊 143号：令和8年 2月16日（月）発刊 / 700部発刊
-----	--

■ボランティア登録幹旋事業

【ボランティア登録者数】

登録区分	会員数						差異
	令和7年3月31日時点			令和8年3月31日現在			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
個人	70名	148名	218名	66名	146名	212名	△6名
団体	343名	714名	1,057名	326名	690名	1,016名	△41名
合計	1,275名			1,228名			△47名

【ボランティア幹旋数】

実績	派遣回数：91回、活動実人数：63名、活動延べ人数：334名 (前年度 派遣回数：60回、活動実人数：60名、活動延べ人数：166名)
内容	託児：保健センター離乳食教室、子育てサポートセンター講習会 訪問活動：高齢者施設・障がい者施設慰問活動 施設活動：高齢者施設お話し相手等 外出介助：高齢者施設屋外レクサポート 行事活動：障がい者ふれあい運動会運営補助等

■市民活動サポーターの設置

網走市社会福祉協議会の事業への協力及びボランティア活動者のサポートとして、市民活動サポーターを設置しています。

内容	市民活動サポーター人数：8名 ①定期ミーティングの開催 毎月第1水曜日11:00～12:00 ②お話広場えがおの運営 ③情報誌夢ポケットの発送準備 他
----	--

■外部研修等の参加

内容	日時	場所等	参加者
オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム	12月13日(土)	斜里町 ゆめホール知床	6名

■その他の業務

・ボランティア活動保険の加入促進

網走市では、市民活動やボランティア活動に携わる「ボランティア登録者」に対して、ボランティア活動保険の掛金を全額助成しており、本会で加入受付事務を行いました。

○令和7年度ボランティア保険加入者数（市助成分）1,240人 掛金1人350円

・ボランティア活動に関わる保険加入の受付

ボランティア活動保険【対象：国内における自発かつ無償のボランティア活動】

ボランティア行事用保険【対象：国内で行うボランティア活動に関する各種行事】

福祉サービス総合補償【対象：在宅福祉・地域福祉サービス、介護保険サービス など】

送迎サービス補償【対象：送迎サービス】

・ボランティア団体の支援

【若い世代のボランティアグループとの連携・運営支援】

ボランティア経験のある網走桂陽高校・網走南ヶ丘高校のOB・OGで組織されたグループ「ミライエ」と連携し、ヤングボランティア事業「高校生が考える！作る！披露する！クリスマス交流会」における高校生へのサポートや運営補助に協力をいただきました。

・ボランティアに係るアンケート調査の実施

高齢者ふれあいの家及び、介護支援ボランティアポイント制度受入機関を対象にボランティアに関するアンケート調査を実施し、活動実態を把握しました。

詳 細	高齢者ふれあいの家におけるアンケート調査 対 象：高齢者ふれあいの家 13カ所 回答数：13団体
	介護支援ボランティアポイント制度受入機関におけるアンケート調査 対 象：介護支援ボランティアポイント制度受入機関 16施設 回答数：15施設 その他：施設ボランティア受入ガイドブックを作成し、対象施設に配布しました。

9. コミュニティソーシャルワーカー設置事業

高齢者や障がい者、子育て中の親など、地域で安心して暮らしていく中で解決が必要な生活課題を抱える方に対し、課題解決に向けた「支援」「調整」「助言」「つなぎ」を行うとともに、「住民主体の地域づくりの推進」を図るため、地域のコーディネートを担当するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置しました。

詳 細	■職員配置人数 5名（地域福祉課長・地域福祉係職員） ■相談援助活動 72件（訪問、来所、電話対応） ■職員のスキルアップ ・情報共有 CSW連絡会議 12回 ・研修参加 令和7年度地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会 職員3名参加
-----	--

10. 災害時要援護者支援制度（網走市事業）の登録促進支援

令和7年度については実施しておらず、制度内容について情報収集し、網走市と共に登録促進をしていきます。

11. 保険・医療・福祉等・多職種との学習会や情報交換会の開催及び参加

網走市タウンミーティングについては内容に応じて、適宜参加をしています。また、外部委員として参加することで多職種との情報交換をしています。

12. 外部委員の参加

内 容	出席者
網走市学校支援地域本部事業実行委員会	松野課長
網走市市民活動等推進懇話会	大橋主事
網走市障がい者自立支援協議会（地域生活部会含む）	荒尾主事
郊外地区乗合交通実証運行協議会	松野課長
網走市ケアマネジャー連絡協議会	松野課長

その他、北網保健医療福祉圏域連携推進会議委員

13. 地域福祉事業功労者の表彰（社協会長表彰）

地域福祉に貢献した個人および団体を表彰しました。 3名（敬称略・順不同）

永年ボランティア活動	川原田恵理、石山順子、岩渕倫実
------------	-----------------

14. 買い物リハビリ事業（介護予防・日常生活支援総合事業「通所型サービスA」）

総合事業対象者や要支援者が買い物を通じて、身体のリハビリをすることにより、身体能力の向上を図ることを目的に実施しました。本会としては送迎車両・運転手の提供（2名）、付き添いボランティア（ウインクルム）の報告を行っています。

実施日／回数	毎週火・水・木曜日／137回	ボランティア人数	延べ193名
--------	----------------	----------	--------

15. 生活支援体制整備事業（受託事業）

「高齢者が安心して暮らし続けられる地域（地域づくり）の構築」を事業目的に、単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、網走市が中心となって、生活支援サービスを担う事業主体と連携をしながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っています。

（1）社協組織体制の構築及び強化

①地区担当職員の配置

社協が取り組む「地域福祉の推進」を実践する職員（コミュニティソーシャルワーカー：CSW）を地区の担当職員として配置。社協が行う地域福祉の推進の一環としてCSWが第2層協議体と連携を図りながら住民主体の地域づくりの推進及び運営の支援を行ないました。

対応内容	・第2層協議体設立に向けたアプローチ ・第2層協議体の運営支援（会議や事業実施等）
対象地区	17地区（地区連をベース）
地区担当	4名（地域福祉係職員）

②地区担当職員間の情報共有

地区担当職員（CSW）が地域のキーパーソンと連携を図り、取組み状況や進め方等、円滑な取組みや課題解決につながるよう情報共有や学習を行いました。

実施日	年12回（毎月1回定期開催）
内 容	CSW連絡会議（・CSWのスキルアップを目的とした学習や情報収集の場 ・「進捗状況・進め方の確認」「情報や課題の共有」「方向性の確認」等

③生活支援体制整備事業に関する研修会への参加

日時	内 容	場所等	出席者
7月23日 24日	令和7年度生活支援コーディネーター養成研修【基礎編】	オンライン	松野
11月5日	令和7年度オホーツク管内生活支援コーディネーター情報交換会	湧別町	松野 荒尾 伊奈
11月12日	令和7年度第1回生活支援・介護予防充実強化研修	札幌市	松野
1月31日	令和7年度市民活動支援セミナー（ファシリテーション）	網走市	松野 大橋
3月上旬	令和7年度第2回生活支援・介護予防充実強化研修	オンデマンド	松野

(2) 第1層の取り組み

①第1層協議体の運営

第1層協議体を担う「網走市地域福祉会議」にて、関係団体との情報共有、事業の進捗状況の確認や協議等を行いました。(2ページ参照)

②全市的な取り組みが必要な地域課題の解決に向けた協議・検討

各地区等で抽出された地域課題等の情報を踏まえ、全市的な取り組みが必要な地域課題の解決を目指し、関係者との話し合いや情報確認を行いました。

会 議	全市的な課題解決に向けた検討会議
参 集	網走市、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター
開 催	第1回 日 時：令和7年7月17日(木) 10:00～11:00 出席者：5名 内 容：関係機関からの全市的課題の抽出、研修会について 第2回 日時：令和8年2月9日(月) 10:30～11:30 出席者：5名 内容：関係機関からの全市的課題の抽出、翌年度の事業計画

③住民への情報発信

○進捗状況を掲載したリーフレットの作成と配布

実 施	年1回(令和7年7月1日発行)
配布方法	全戸配布(市内：網走広報に折込み／郊外：市広報誌に折込み)
周知内容	令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)の期間で取り組まれた「第1層」「第2層」の取り組みの一部を記載。各地区の協議体が中心となり実施した課題解決の取り組みを紹介

その他、FM あばしり、広報誌、SNS ツールを活用した情報発信を行いました。

④支え合いの地域づくり研修会の開催

全市的な課題として「担い手不足」を柱に、支え合いの延長線上にある災害に焦点をあてることにより、日ごろの支え合いの意識を高める研修会を開催した。

日時場所	令和7年11月29日(土) 10:00～11:45／エコセンター2000学習室
実施内容	①講話：「災害への備え～“自分と家族の命を守る”そして“支え合う”～」 講師：北見赤十字病院 第三内科部長 谷口治 氏 ②地域包括支援センターのご紹介(地域包括支援センターりんく 南センター長) ③お知らせ・情報提供・協力依頼
参加者	参加者(63名)、スタッフ・関係者(13名)、講師(1名)

⑤「高齢者お役立ち情報」改訂版の発行

年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために、網走市内にある高齢者が有効活用できる社会資源の情報等を掲載した冊子「高齢者お役立ち情報(令和3年10月発行)」の改訂版を発行する。

発 行	令和7年10月発行
内 容	高齢者に役立つ社会資源サービス(96内容)を掲載した冊子を作成 冊子：10,000部 / カード：1,000枚

周 知	・ 網走市内公共施設、地域包括支援センター、市役所に設置 ・ 老人クラブ、高齢者ふれあいの家へ配布 ・ 民生委員児童委員に周知 など
-----	--

⑥講師等対応

日時	内 容	場所等	出席者
8月20日	豊頃町社会福祉協議会役職員視察対応 (体制整備事業・日時用生活のちょこっとお手伝い事業)	網走市	松野 荒尾
11月12日	令和7年度第1回生活支援・介護予防充実強化研修 (内容：行政との協働及び事業報告)	札幌市	松野
12月20日	潮見地区連合町内会女性部 (内容：網走市における生活支援体制整備事業)	網走市	松野

(3) 関係機関等との連携

①地域課題の解決に向けた連携や取組み

関係機関と連携を行い、様々な活動や諸会議にも積極的に参加し、情報共有やネットワークの拡大、地域課題の解決に向けて連携や取組みを行いました。

- ・ 地域ケア会議の出席
- ・ 地域団体主催事業への参加

(4) 第2層の取り組み

第2層協議体の運営サポート及び協議体設立に向けて取り組みを行いました。

①協議体設立状況

- ・ 地区で協議体または話し合いの場が設立し活動中：14地区
- ・ 地区で協議体または話し合いの場が設立しているが休止中：3地区
- ・ 地区で協議体または話し合いの場の設立を打診中：4地区
- ・ 地区関係者と協議の結果、現段階では「取組みは行わない」との回答あり：8地区

②協議体の開催状況

□地区の関係者等との打合せ：136回（前年度151回）

■協議体メンバーを中心とした会議等（開催予定・延期も含む）：34回（前年度30回）

★取組み：19回（前年度21回）

※詳細は11ページ参照

第2層の取り組み概要

□：地区の関係者等との打ち合わせ / ■：協議体メンバーを中心とした会議等 / ★：取り組み・成果

No.	地区名	□	■	★	★の取り組み
1	西地区	13	3	5	①野菜販売（4回） ②地域交流・蒸かしまんじゅうづくり
2	北地区	2	4	1	①地域交流・モルック交流会
3	向陽ヶ丘地区	5	0	0	
4	台町地区	0	0	0	
5	鉄南地区	18	3	2	①地域交流・鉄南ふれあいまつり ②地域交流・第5回ゲーム交流会
6	呼人地区	0	0	0	
7-1	東部地区（豊郷第1区会）	0	0	0	
7-2	東部地区（中園）	0	0	0	
7-3	東部地区（藻琴町内会）	2	0	1	①地域交流・ゴミ拾いウォーキング
7-4	東部地区（昭和）	0	0	0	
7-5	東部地区（山里）	0	0	0	
7-6	東部地区（稲富）	0	0	0	
7-7	東部地区（鱒浦町内会）	2	0	0	
8	南部地区	20	1	3	①お話会（実豊・音根内・浦士別）
9-1	西網走地区（平和）	4	3	0	
9-2	西網走地区（能取）	0	0	0	
9-3	西網走地区（卯原内町内会）	12	4	1	①卯原内音祭り
9-4	西網走地区（嘉多山・越歳）	0	0	0	
9-5	西網走地区（二見ヶ岡区会）	5	3	1	①アンケート調査
10	桂町地区	3	0	0	
11	鱒浦地区	0	0	0	
12-1	南西地区	0	0	0	
12-2	南東地区	0	0	0	
13-1	潮見地区	9	4	1	①地域交流・子どもまつり
13-2	潮見ヶ丘地区	0	0	0	
14	駒場地区	0	0	0	
15	つくしヶ丘地区	18	5	2	①トーキング・ウォーキング・キャッチング ②つくしヶ丘地区集まれ！ワクワク夏まつり
16	新町地区	17	2	1	①地域防災研修・避難訓練
17	天都山地区	6	2	1	①ノルディックウォーキング&BBQ
合 計		136	34	19	

Ⅱ. 相談支援事業の推進

(1) 相談実績

	新規相談内容											
	家計	負債	就労	教育	健康	介護	近隣トラブル	ひきこもり	住居	家族問題	その他	計
令和5年度	21	5	4	0	3	0	0	2	1	6	2	44
令和6年度	38	4	3	0	2	1	0	5	4	4	1	62
令和7年度	23	4	1	2	2	1	0	1	2	5	1	43

(2) 就労準備支援事業、家計改善支援事業の取り組み状況

①就労準備支援事業プラン作成状況

	新規	更新
令和5年度	3件	2件
令和6年度	0件	1件
令和7年度	0件	3件

②家計改善支援事業プラン作成状況

	新規	更新
令和5年度	4件	2件
令和6年度	1件	6件
令和7年度	3件	7件

(3) 生活福祉資金及び総合支援資金貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

- ①教育支援資金貸付実績 1件 167,000円（前年度 0件 0円）
 ②緊急小口資金貸付実績 2件 130,000円（前年度 1件 100,000円）
 ③福祉資金貸付実績 1件 23,000円（前年度 0件 0円）

(4) 福祉援護資金貸付事業の実施

福祉援護資金貸付実績 4件 92,000円（前年度 5件 110,000円）

(5) 安心サポート事業の実施

令和7年度利用実績 3件 89,227円（前年度 3件 76,457円）

生活困窮により医療費、食料購入費、光熱水費等が負担できない方に対し、本会がご本人に代わってお支払いする事業を実施しました。

(6) LINEチャットの実施

令和4年度よりより相談しやすい環境を整えるために、スマートフォンやタブレットのLINEトーク機能を活用した交信ツールを提供しました。

令和7年度利用実績 新規相談18件 （前年度 利用者16件）

(7) フードドライブ事業の実施

経済的に困窮された方への食糧支援の取り組みで、フードドライブ及びフードパントリーを実施しました。

フードドライブ		フードパントリー	
受付期間	寄贈食品量	配付期間	配付食品量
11月4日 ～12月5日	個人26人、団体3件より 325kg	12月22日 ～12月25日	生活困窮21世帯 (内、新規8世帯)

2. 権利擁護

(1) 成年後見相談支援事業の受託運営

○市民後見人支援活動

市民後見人連絡会議（ケース検討会議）を開催し、担当ケースの支援について情報交換、意見交換しました。

ケース検討会議

日時	議題	場所等	出席者
4月24日	①事例報告：「生活保護再開の相談」について ②近況報告等	福祉センター	11名
5月23日	「きたみ市民後見人の会交流会」に参加報告	福祉センター	11名
6月17日	フリートーク	福祉センター	12名
7月18日	生活保護について	福祉センター	16名
8月12日	※フォローアップ研修会と合同開催	エコーセンター	14名
9月11日	受任報告（初回報告を終えて）	福祉センター	9名
10月23日	①高齢者等の終活支援に関わる事業 ②近況報告	福祉センター	10名
11月6日	令和7年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会への参加（紋別市）	福祉センター	8名
12月8日	① 管内市民後見人活動交流会参加報告 ②近況報告	福祉センター	11名
1月19日	「生活困窮者自立支援制度」を学ぼう～生活サポートセンターらいとの取組みから～	福祉センター	14名
2月21日	※フォローアップ・権利擁護研修会と合同開催	エコーセンター	69名
3月12日	知って、学んで、活用しよう！成年後見制度	福祉センター	8名

○市民後見人フォローアップ研修会の開催

市民後見人養成講座の修了生および地域生活支援員を対象として、活動する上での知識や技術の習得を目的として開催しました。

市民後見人フォローアップ研修会

日時	テーマ	場所等	出席者
8月12日	心を動かす魔法のことば ～権利擁護におけるペップトーク活用術～	エコーセンター	14名
2月21日	寄り添って聴くということ※権利擁護研修会と合同 ～相手との対話から生まれる信頼と安心感～	エコーセンター	69名

○相談支援事業

相談件数64件（前年度53件） 新規38件、継続26件

相談内容内訳（複数回答）

相談内容	制度概要	申立手続	金銭管理	財産管理・処分	その他	合計
件数	26	21	18	13	80	158

前年度までと比較すると、複数にわたる相談が増えています。

○運営協議会の開催

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回	6月18日	・ 新任委員の紹介 ・ 令和6年度網走市成年後見相談支援事業報告・決算報告 ・ 保佐開始の審判に係る市民後見人候補者推薦
第2回	3月24日	・ 令和8年度成年後見相談支援事業 事業計画と予算について ・ 保佐開始の審判に係る市民後見人の推薦について（事件数：2件）

○市民後見人推薦に係る候補者面接

回数	開催日	出席者
第1回	6月9日	面接官（2名）／市民後見人候補者（1名）／事務局（3名）
第2回	3月17日	面接官（2名）／市民後見人候補者（3名）／事務局（2名）

○研修会等の参加

日時	内 容	場所等	出席者
5月8日	管内権利擁護支援センター情報交換会	大空町	山中、山西
5月13日	きたみ市民後見人の会 訪問・意見交換	北見市	渡邊後見人（発表者）、 山中課長、山西
5月19日	勉強会（KAERU内容説明、活用事例紹介等）	オンライン	永倉局長、山中課長、山西 酒井、金野、小西
5月22日	視察研修（安心サポート事業、死後事務等）	本別町社協	永倉局長、山中課長、山西 酒井、市職員2名
6月2～3日	視察研修（死後事務等） 視察研修（終活情報登録事業等）	富良野市社協 石狩市社協	永倉局長、山中課長、酒井 市職員2名
6月10日	管内権利擁護支援センター情報交換会	オンライン	山中課長、山西
7月22日	第1回意思決定支援 フォロワーシステム 勉強会	オンライン	山中課長、佐々木
7月23日	管内権利擁護支援センター情報交換会	オンライン	山中課長、佐々木
8月6日	成年後見制度事業担当者研修・連絡会議	オンライン	山中課長、佐々木
9月11日	終活研修会	美幌町	山中課長、小西、金野
10月6日	管内権利擁護支援センター情報交換会	オンライン	山中課長、佐々木
10月22日	管内権利擁護支援センター情報交換会	オンライン	山中課長、佐々木
10月27日	日常生活自立支援事業 自立生活支援専門員研修	札幌市	山中課長
10月28日	権利擁護研修～死後事務委任契約～	清里町	永倉局長、山中課長、佐々木
11月6日	令和7年度 管内市民後見人活動交流会	紋別市	市民後見人（6名）、 山中課長、佐々木
11月20日	日常生活自立支援事業コンプライアンス研修	オンライン	山中課長、佐々木
11月23日	道新終活応援フェア	北見市	山中課長
12月11日	管内権利擁護支援センター情報交換会	オンライン	山中課長、佐々木
12月22日	権利擁護セミナー	北見市	山中課長、佐々木、金野 小西

日時	内 容	場所等	出席者
2月5日	管内権利擁護支援センター情報交換会	オンライン	山中課長、佐々木
2月6日	令和7年度 権利擁護支援シンポジウム	オンライン	山中課長
2月9日	家事関係機関との連絡協議会	オンライン	山中課長、佐々木
2月26日	令和7年度 法人後見実施機関研修	オンライン	永倉局長、山中課長
3月2日	視察対応（鶴ヶ島市社協）：終活事業等	福祉センター	山中課長
3月13日	実践的意思決定支援ファシリテーション研修	津別町	山中課長、佐々木、小西

（２）日常生活自立支援事業の受託運営（道社協委託事業）

福祉サービス利用援助事業として業務を行ないました。

○契約者数 4名

○自立生活支援員登録者数 10名、実働者数4名

（３）高齢者等の終活支援事業の受託運営

網走市成年後見相談支援事業の取り組みの一環として、令和7年10月1日より事業開始。

①事業周知

□事業説明（関係機関・企業等）：28カ所

関係機関や企業へ連携に向け本事業の説明及び事業周知を行った。

□事業周知（市民・団体等）：20回

市内の関係団体等と連携し、本事業の概要説明の場を設けていただき事業周知を行った。

□事業周知（市民）

FＭあばしりで開設している「社協のほっと便」で事業説明を行った。

日時：10月7日（火） 内容：高齢者等の終活支援事業の説明 対応：山中課長・佐々木

②終活相談窓口の設置

少子高齢化や地域社会における人間関係の希薄化に伴い、自分の死後に不安を感じる人が増えています。そのような不安を解消し、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、自分の望む人生を最後まで自分らしく歩むための契機につなげていくことを目的に終活に関する相談窓口を開設しました。

相談・対応件数（10月～）49件

内訳：事業説明22件、エンディングノート配布・記入7件

終活情報登録事業登録手続き10件、面談予約9件、その他1件

【エンディングノートの提供】 配布数：約600部

事業説明や事業周知を行った際、終活への取組みの第1歩として希望された方にエンディングノートの配布を行った。単に配布するだけではなく、相談者とお話しご自身での記載が難しい場合は、職員が聞き取り、代筆を行い、ご本人に記載内容をご確認いただく等、完成のサポートを行っている。

③網走市終活情報登録事業 登録者：6名

必要な情報を事前に登録することにより、市内に居住する独居等高齢者の方が、病気や事故などにより意思表示が困難な場合や安否確認ができなくなった場合に、医療機関や警察、ご本人が指定したご家族などからの問い合わせに対し、ご本人に代わりあらかじめ登録した緊急連絡先や終活に関する情報をお伝えする取り組みです。

Ⅲ. 在宅福祉事業の推進

(1) 指定訪問介護事業所の経営

○訪問介護事業、訪問型サービス事業（第1号訪問介護）

・訪問介護員（サービス提供責任者4名・常勤職員3名・パート職員7名）R8.4.1現在
サービス提供実績（延訪問数）

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要介護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
令和5	778	349	920	1,479	1,581	497	0	55	5,659	15.5	1.4
令和6	515	437	714	1,556	1,809	461	3	161	5,656	15.5	1.6
令和7	346	551	701	1,068	2,089	857	157	150	5,919	16.2	1.6

○障がい福祉サービス事業（指定居宅介護）

サービス提供実績

年度	稼働日数（日）	延訪問数（回）	1日平均（回）
令和5年度	312	714	2.3
令和6年度	264	671	2.5
令和7年度	234	435	2.1

(2) 受託事業

○高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の受託運営（シルバーハウジング事業）

生活援助員による生活相談など日常生活援助を行いました。入居数 25世帯（R7.3.31現在）
利用者のニーズを踏まえた生活指導に努めました。

○子育て世帯訪問支援事業の受託運営

網走市子育て世帯訪問支援事業実施要綱に基づき、養育や家事について、不安や負担を抱えた子育て家庭、妊娠婦、ヤングケアラー等がいる支援を必要と判断した家庭に対して、子育て世代包括支援センターの作成するサポートプランに合わせた、子育て訪問支援員の派遣・指導を行いました。

・子育て訪問支援員（訪問支援員研修修了パート職員6名）R8.3.31現在

・サービス提供実績

年度	稼働日数（日）	延訪問数（回）	1日平均（回）
令和7年度	97	106	1.09

○家族介護者交流事業（家族介護者リフレッシュのつどい）

家族介護者のリフレッシュを目的として、グループに分かれてモルックを行ない、その後、参加者同士の交流（トーク）で、リフレッシュいただきました。

期日	場所	参加者
11月16日	総合福祉センター	26人（家族介護者14、ほっとコール4、社協3、包括2、市3）

IV. 法人運営事業の推進

1. 社協事業

役職員等が本会の「経営理念」を常に念頭に置き、この理念に基づく事業の推進を図りました。

(1) 理事会・評議員会の定例開催等

安定した事業経営や業務の円滑な執行に資するために、理事会等を開催しました。

また、評議員会を適時開催し、事業運営の透明性の向上に努めました。

月日	名 称	主 な 案 件	出席者
5月15日	決算監査会	令和6年度決算について（監査）	監事2名
6月6日	第1回理事会	外部監査結果報告、社会福祉充実計画の策定について、理事候補者について、令和6年度事業報告、令和6年度収支決算報告、令和6年度監査報告、評議員候補者について、定時評議員会の招集事項について	理事10名 監事2名
6月26日	第1回評議員会	令和6年度事業報告、令和6年度収支決算報告、令和6年度監査報告、理事及び監事の選任について	評議員 10名他
6月26日	第2回理事会	会長、副会長及び常務理事の選定について	理事10名
8月12日	第3回理事会	会務報告、網走市社会福祉協議会会長表彰について、網走市終活情報登録事業について、ふれ愛ひろば網走2025について	理事10名 監事1名
8月27日	第2回監査会	第一四半期の業務執行状況について、総務課の業務監査及び会計監査	監事2名
12月11日	第4回理事会	会務報告、監査報告、育児・介護休業等に関する規程の一部改正について、カレンダー・リサイクル市の開催について	理事13名 監事2名
12月23日	第3回監査会	上半期の介護保険事業の経営状況について、業務監査、会計監査	監事2名
3月6日	第5回理事会	会務報告、監査報告、再雇用職員の取扱いに関する規程の一部改正他規程類の改正、第8期地域福祉実践計画策定について、令和7年度補正予算案、令和8年度事業計画案、令和8年度収支予算案、令和7年度第2回評議員会の開催について	理事12名 監事2名
3月27日	第2回評議員会	令和7年度補正予算案について、令和8年度事業計画案について、令和8年度収支予算案について	評議員 14名他

○道社協・管内社協の会議等

月日	事業名	会場	参加者
6月26日	管内社会福祉協議会職員連絡協議会 正副会長会議・役員合同会議	エコセンター	山中課長
7月22日 ～23日	北海道社協連協総会・研究協議会	札幌市	庭山課長
7月24日	管内市町村社協連絡会議総会	エコセンター	黒田会長、永倉局長
10月23日	管内社会福祉協議会職員連絡協議会 活動交流会「そば打ち体験」	エコセンター	3名
11月5日 ～6日	全道市町村社協事務局長連絡会議	札幌市	永倉局長
1月23日	管内社会福祉協議会職員連絡協議会 正副会長会議・役員合同会議	エコセンター	山中課長
3月12日 ～13日	オホーツク管内市町村社会福祉協議会連絡協議 会会長・事務局長会議・事務局長研修会	大江本家	黒田会長、永倉局長

(2) 永年役員・評議員功労者の表彰（社協会長表彰）

役員等表彰 2名	伊藤勉、林幸子（敬称略・順不同）
----------	------------------

(3) 広報活動の推進

①社協情報紙「ふれ愛めーる」を全戸配布しました。

発行日	機関紙名	付記
7月20日	ふれ愛めーる第123号	全戸配布
3月20日	ふれ愛めーる第124号	全戸配布

②事業計画、事業報告、収支予算、収支決算を機関紙及びホームページに掲載しました。

③FMあばしりにて月1回「社協のほっと便」を放送しました。(毎月第1木曜日)

④ホームページおよびFacebookを更新しました。

(4) 法令遵守の徹底

(5) 経営基盤の強化

①社会福祉充実残額の算定と計画立案の要否確認

社会福祉充実残額算定の結果、計画立案の必要がありませんでした。

②中期財政計画の検討(職員処遇改善費、退職金積立、事業人件費、固定資産等更新)
当初の計画どおり、退職金等を積立しました。

③会員会費制度の整備充実

○会員会費実績

年度	一般会員	特別会員	賛助会員	合計
R5	1,072,250 円	385,000 円	683,500 円	2,140,750 円
R6	1,035,490 円	399,000 円	726,500 円	2,160,990 円
R7	1,011,800 円	363,000 円	702,500 円	2,077,300 円

④共同募金配分金等の寄付金による事業の適正な実施

赤い羽根共同募金助成金および歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

○赤い羽根共同募金助成金 434,855 円(前年度 343,565 円)

内容 広報啓発事業 394,855 円

ふれあいクリスマス事業 40,000 円

○歳末たすけあい募金助成金 743,976 円(前年度 1,073,491 円)

	事業名	金額
1	ボランティアセンター運営事業	278,976 円
2	被災者世帯見舞金贈呈事業	150,000 円
3	出前講座事業	55,000 円
4	ふれ愛ひろば網走開催事業	100,000 円
5	福祉教育事業	25,000 円
6	こころのバリアフリーガイドブック作成	60,000 円
7	事務経費(共同募金会へ)	75,000 円

⑤高額寄付者への感謝状贈呈(社協会長顕彰) 令和7年度3件(前年度2件)

⑥職員処遇改善計画の維持管理に努めました。

(6) 事務局体制の整備

①事業内容・規模に応じた職員体制の確保に努めました。

②職員の資質向上のため職員研修を行ないました。

③Zoom等オンラインにて各種研修会等に参加しました。

(7) 福祉の担い手づくりの促進

社会福祉士の取得のために必要なカリキュラムの1つである「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の実習に協力しました。約1ヶ月間、名寄市立大学の学生1名を受け入れました。

(8) 網走市共同募金委員会の事務局運営

(9) 備品貸出事業の実施

地域福祉の推進を目的として、地域の行事やイベントで活用可能な備品の貸し出しを行ないました。テント等の屋外行事用備品、プロジェクター・スクリーン等の他、屋内で楽しめる軽スポーツ（ボッチャ、モルック）の貸し出しが増加しました。（前年度47件）

○利用実績

件数	主な貸出備品
43	ワンタッチテント、プロジェクター、スクリーン、モルック・ボッチャ用具

(10) 災害見舞金の支給

歳末たすけあい募金の助成金を財源に、火災による被災者に対して見舞金を支給する事業を行ないました。

支給実績：火災 0件 （前年度3件 40,000円）

(11) 身体障がい者生活器具給付事業の実施（ストーマ等）

行政制度にない隙間の部分を補完することを目的として実施しました。

給付実績：ストーマ14件（前年度13件）1人10,000円、合計140,000円

2. 受託事業

(1) 網走市総合福祉センターの指定管理受託

駐車場が狭いという課題があり、良い解決策がないまま利用者の皆さまにご不便をおかけしているところですが、指定管理者制度に基づき管理者として、適切に管理しました。

項 目		R5年度	R6年度	R7年度
団 体	団体数	1,261	1,189	939
	人 数	9,671	8,511	8,105
個 人	老 人	5,159	5,016	5,075
	母 子	0	0	0
	身 障	2,032	1,749	1,734
	精神障がい等	170	177	171
	小 計	7,361	6,942	6,980
合 計		15,175	16,613	15,085

○事業等

事業名	日にち	内容
福祉センター感謝祭	令和8年 1月11日（日）	演芸発表（カラオケ・踊りなど）、バザー、抽選会 ※別会場でカレンダー・リサイクル市
消防訓練 （避難・通報・消火訓練）	6月27日 12月24日	網走市子ども発達支援センターと合同で実施

(2) 網走市福祉バス運行管理事業の受託

項 目	R5年度	R6年度	R7年度
運行回数	71	71	73
利用人員	1,415	1,470	1,386

(3) 子育てサポートセンター事業の受託

育児の援助を「受けたい方（依頼会員）」と「行ないたい方（協力会員）」が会員となり、子育てサポートセンターが仲介して会員同士で支え合う援助事業に取り組みました。

■登録会員数

会員区分	会員数		差異
	R7.3.31 現在	R8.3.31 現在	
依頼会員	91名	83名	△8名
協力会員	89名	85名	△4名
両方会員	14名	13名	△1名
合 計	194名	181名	△13名

■相談件数

年 度	件 数
令和5年度	298件
令和6年度	256件
令和7年度	285件

■事前打ち合わせ件数

年 度	件 数
令和5年度	12件
令和6年度	11件
令和7年度	9件

■会報「あおぞら」発行

実 績	第37号（春・夏号）：令和7年6月16日発行 / 500部発行
	第38号（秋・冬号）：令和8年1月15日発行 / 400部発行

■スキルアップ講習会の開催

開催日時	◆第1回：令和7年 7月25日 内容：知っておきたい応急手当！！ 参加者：2名
	◆第2回：令和7年10月29日 内容：おなか元気教室～腸を整える 参加者：4名

■協力会員講習会

開催日時	第1回：令和7年 5月20日	参加者申込みがなかったため中止
	第2回：令和7年 8月15日	参加者申込みがなかったため中止
	第3回：令和7年11月20日	参加者申込みがなかったため中止
	第4回：令和8年 2月12日	参加者申込みがなかったため中止

■活動内容集計

活動内容	回 数
保育施設等の開始前・終了後の預かり	0
学校開始前・終了後の預かり	2
子どもの病気時の預かり	1
児童館の開始前・終了後の預かり	21
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事等の際の預かり	2
親や他の子どもの通院や検診等の際の預かり	6
保護者の就労や求職の際の預かり	8
買い物や外出の際の預かり	3
預かり援助その他	0
自宅や祖父母宅への送迎	7

保育施設等への送迎	1
病院への送迎	0
習い事への送迎	176
学校への送迎	15
親の職場への送迎	0
送迎援助その他	2
合 計 (前年度371回)	244

(4) ふれあいクリスマスパーティーの開催（実行委員会形式）

網走市手をつなぐ育成会、ことばの教室、市内特別支援学級、網走市こども発達支援センター等を利用している子どもとその家族がアトラクション（バルーンショー等）を楽しみ交流を深めました。

開催日時	令和7年12月7日（日）10時30分～12時
開催場所	エコーセンター エコーホール
参加者数	253人（子ども131人、保護者等122人）

(5) 団体事務の運営

各団体役員および構成員との連携を図り、事務等について適切に行ないました。

（●印は市からの業務委託団体）

1	●網走市町内会連合会	6	網走市暴力追放推進協議会
2	●網走市老人クラブ連合会	7	●網走市連合遺族会
3	●網走地区防犯協会	8	●網走市身体障害者福祉協会
4	網走地区暴力追放推進協議会	9	●くるみ里親会網走支部
5	●網走市防犯協会	10	網走市共同募金委員会